



The Weekly Report of Hakodate North R.C.

このマークを真に光らせよう



神山春景

深瀬会員画

通算 第 5 号

1964-7-15

函館北ロータリークラブ

第 5 回 例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

- ◆ 齊 唱 「我等の生業」
- ◆ 司 会 新 会長
- ◆ ゲ ス ト アレン船長 ステイヴリー副長（アメリカのテレルカウンティ号が親善訪問のため函館に寄港）高野武久君
- ◆ ビ ジ タ ー 隅谷吉二君（立川R.C.） 齊藤正則君他11名（函館R.C.）
渡辺熊四郎君他13名（函館東R.C.）
- ◆ ニ コ ニ コ 箱 お誕生日おめでとございます。
塚田次郎君 神原金一君 新善次君 飯田神生君 野村宜市君
- ◆ 幹 事 報 告
 1. 函館クラブより会員名簿を頂きましたのでお礼を申し上げます。
 2. 当クラブの名簿が都合によりおくれしていますが、近く出来上ります。
 3. 今回のクラブ会報が定刻よりおくれまして申し訳ありません。
 4. 来る7月25日岩見沢市でR.C.第350地区研究会が行われますが、各委員長の方々も出席義務者になるかも知れません。
- ◆ ス ピ ー チ 「ピカソ展をみて」 深瀬鴻一郎君
先ず国際奉仕委員長として、アメリカのお二人のゲストにウエル・カムを申し上げます。本日は始めに「ピカソ展をみて」と言う題でお話をします。絵は文字でも言葉でも

ありません。絵は万国共通のもので、何れの国民も「美」に対する気持は共通だと思
います。絵は心の手紙であるとも申せましょうか。

およそ物には価値があります。その価値は経過をみないとわからぬ場合があります。
例えば小説とか音楽の様に。ところが絵はみればすぐその価値がわかります。これが
の効用です。又絵はその人の人格を表すものだと思います。

先日京橋でピカソ展が開かれたのでみて参りました。ロータリアンやチャーチル会
は見当らぬ様で、殆んど一般人でした。私は一般人の色々な声をきき、次の様にまとめて
みました。(1)ピカソの絵がわかる人(2)わからぬ人(3)わかつたふりをする人(4)無反応の人
続いてピカソの絵の実際について少し解説を致します。

(絵が展示され、説明される。)

次に国際奉仕委員長としてのお話を追加します。去る4月7日R. H. ハーバー氏がロー
タリアンとして函館に来られましたが、来る8月11日に初代ハーバー氏の追悼式を行う
ことになりました。つきましては皆様より御寄附を仰ぎたいと思いますのでよろしくお
願い致します。尚初代ハーバー氏は函館に領事として来られ90年前に当地で暗殺されま
した。又二代目ハーバー氏は空中からの室素固定でノーベル賞を受けております。

◆アレシ船長(ゲスト)の挨拶

本日は御招待を受けて有難うございます。長い間海上生活をしておりまして、ロー
タリアンとしての資格はあると思うのですが、クラブに出席したことはありません。

私の船は、船の前がドアになつて、そこが開いてタンク等が出入り出来る様になつて
います。300人の人間も運びます。

1954年に造られ、第7艦隊に属し、基地は横須賀で、同様の特殊設計の船が8隻ありま
す。作戦区域は西太平洋です。日本に来て、皆さんが英語が上手なのに驚ろきました。
私もそのうちに日本語が上手になつて、日本語で御挨拶したいと思つています。艦員に
代り厚く御礼申し上げます。

◆出席報告

会員数30名 出席22名 他クラブ出席3名 合計25名 出席率83.3%

訂 正

第4号会報中に高木幸作君を(函館R.C.副会長)と書きましたのは(幹事)の誤り
でしたので、訂正とお詫びを申し上げます。

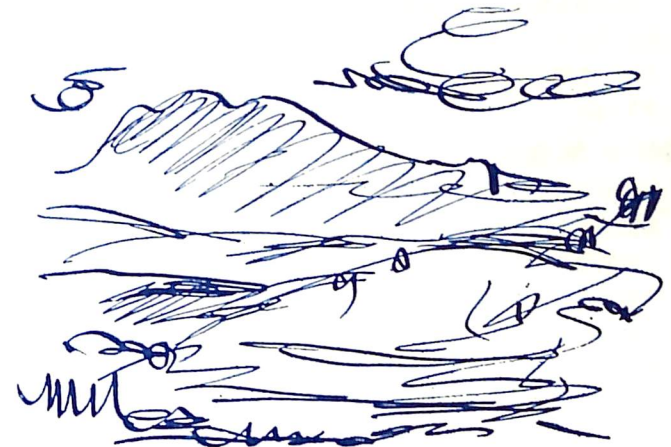
次週ノ卓話 「北クラブの社会奉仕活動について」 北村実雄君
「北クラブの職業奉仕活動について」 飯田神生君

次回例会日 7月29日



The Weekly Report of Hakodate North R.C.

このマークを真に光らせよう



三森山

深瀬会員画

通算第6号

1964-7-22

函館北ロータリークラブ

第6回例会

例会場 明治生命館
例会日 毎週水曜日
12.30~13.30

- ◆齊 唱 「手に手つないで」
- ◆司 会 新 会長
- ◆ピジター 加藤昇君 宮崎善四郎君 長谷川権九郎君 棟方忠君 氏家義也君
永野弥平君 鷲尾英一君 小寺寛一君 酒谷鉦五郎君 浜下改三君
(以上函館R.C.)
出村喜作君 北野治君 富田恭君 宮崎義博君 田辺和夫君 坂野鉄
男君 山本多喜男君 井村守治君 近江政太郎君 福岡万之助君 葉
袋省吾君 大鎌政雄君 辻常太郎君 飯田貞一君 (以上函館東R.C.)

◆会長挨拶

7月16日、函館港に碇泊中のアメリカ工作船より晩餐会の招待を受けました。吉谷市
長、味方市議会議長、出村商工会議所会頭代理、函館、函館東、函館北の三R.C. 会長
等8名に通訳を加え、司令官用のランチで迎えられました。この船は工作艦で、工員400
人、水兵300人の計700人が乗っていました。工作場を充分見学させていただきました。
軍艦では酒を出さない規定になつていたので、水とパーベキューで御馳走になりまし
た。帰途珍らしい軍艦 マーク 入りの調味料入れをお土産に貰いましたが、よくみると
made in Japan でした。それについてシカゴ空港で買った鼻毛取りを思い出し、調べ